

九州大学経営協議会議事録

日時：令和3年6月22日（火）13：00～13：55

場所：web会議により開催

出席者：28名中27名出席

【概要説明】

経営協議会の役割等について説明があった。

【構成員等の紹介】

経営協議会委員について紹介があった。

【審議事項等】

1 指定国立大学法人への申請について

5月31日付で文部科学省に構想調書等の申請書類を提出した旨の報告があり、構想内容について説明があった。

2 第4期中期目標・中期計画素案について

第4期中期目標・中期計画素案について説明があり、審議の結果、これを議決した。

3 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果これを議決した。

なお、以下のような意見交換があった。

- ・特色のある事項として、大学執行部と部局執行部の対話が挙げられているが、これまであまり対話がなされていなかったということなのか。また、この対話を行うことによって、具体的にどのような効果があったのか。

→これまで大学執行部と部局執行部との対話があまりなされておらず、対話は石橋総長の公約ともなっていたので、総長就任後すぐに全部局を回り、各部局の状況、執行部への要望等を聞いてきた。具体的な効果としては、近年、大きな研究用の装置が導入されていなかったが、各部局から要望があった研究用の装置については、選考の上導入した。新たに導入した装置は有効に活用されており、利用状況について大学執行部が見学しており、部局からはこのようなことを継続してほしいという意見もあった。また、部局との懇談の際には、若手、女性、外国人の先生方も参加しており、それぞれ要望に従っていくつかの施策を実施している。

- ・九州大学は巨大な組織であり、多くの教職員、学生がいる。ある程度大学全体として、九州大学というのはこういうものだということを学外に対してPRできる、イメージを与えることができるのが大事。そのためにはこういうプロセスは大変重要であり、しっかりやっていただきたい。
- ・「コロナ禍に対応した教育の実施」という項目に「オンライン授業マニュアルの整備」とあるが、実績報告書の資料を見ると、定例記者会見をオンライン形式で実施することによって、これまで遠隔地なので参加していなかったようなメディアと接触できたという記載があった。オンラインの会見は非常に便利である一方、質問が

限られる、雑談的なものが出来ないのでは伝わるものが少ないといった課題もあるが、オンライン会見マニュアルのようなものは作成されているのか。

→緊急事態宣言中はオンラインによる記者会見を行ったが、初めてオンラインのみで会見した時には、質問が出にくい環境だったように感じた。これを踏まえて、マスコミにどういった環境であれば質問しやすいか等を聞き取りし、少しマイルドな空気感になるように、振り方を工夫しなければならないと考えた。また、研究発表のようなものをオンライン説明会としてやり始め、日ごろ定例会見に参加しないマスコミの方々に、遠隔地からも参加しやすいということで高評価をいただいております、並行してオンラインを活用しながらやっていきたいと考えている。

- ・経済的に困窮されている学生に対して3万円を支給されたということであるが、経済的に困窮している学生に対しては、非常に心配しており、福岡市も一人5万円の支給をさせていただいたところ。引き続き学生の状況について、九州大学と情報を共有し、必要な支援は適宜行っていきたいと考えており、状況に応じてできることを一緒に考えさせていただきたい。

→こちらこそ引き続きお願いしたい。

- ・コロナウイルス感染症対応として、例えば関連研究分野への積極的な投資や、サイエンス的などところへの投資はないのか。

→研究関係では、コロナ関係、医療関係について様々な支援を行っている。また、基金も立ち上げており、令和2年度は基金を募って研究のサポートをするという取組を行った。学生については、令和2年度より学生の支援のための基金を募っており、現在も継続中で、今後もサポートを行っていく。今後はコロナ関係以外でも全体的に広い分野でサポートするような形にしたい。

- ・ダイバーシティ・インクルージョンの箇所は若手、女性、外国人しか記載がないが、SDGsでいう誰一人残さないという観点からすると、障害者等についての記述が全体的に欠けている気がする。

→本学ではインクルージョンに対応する組織を作っており、そこを中心に学生への対応を行っている。インクルージョンを必要とする学生と教育関係の役員等との意見交換の場を設けており、様々な意見を吸い上げる仕組みを作っている。

4 令和2事業年度の決算について

令和2事業年度の決算について説明があり、審議の結果これを議決した。

5 令和4年度概算要求について（施設整備関係）

令和4年度概算要求（施設整備関係）について説明があり、審議の結果これを議決した。

6 令和2年度資金運用実績について

令和2年度資金運用実績について報告があった。

【その他】

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策について報告があった後、以下のような意見交換があった。

- ・ワクチン接種の終了目途はいつ頃、対面授業の再開はいつ頃を想定しているのか。

→現在夏学期中で、夏学期が8月初旬までであり、秋学期が10月初めから始まる

予定。秋学期には2回目の接種済で臨みたいと考えており、できれば7月中には第1回目を打ち終わり、8月には2回目を打てるようにしたいと考えている。課題となっているのは、我々が考えているほど学生や教職員の接種希望者が多くなく、なかなか枠が埋まらない恐れがある。今後様子を見ながら調整したいと考えているが、接種の割合がどのくらいになるかは始まってみなければわからない状況。集団免疫の獲得が非常に重要だと考えており、状況をみながらペースを考えていきたい。

- ・若い方にどういう風に呼びかけたらワクチン接種に行ってもらえるかということについては、大学の方でもしっかり考えていただければと思う。
- ・次回の経営協議会は令和3年10月21日(木)に開催予定である旨の案内があった。

(以 上)